

NRU 国労せんだい

NO. 2473
2006年10月26日
発行責任者 太田 博二
編集責任者 武田 昌仙

エリリア本部と連携

◆本社団交開催に向けて意思統一◆

労働条件と利用者の安全確保を

仙台空港アクセス鉄道対策会議を開催



現場の声を求める高野書記長

10月21日、地方本部はアクセス鉄道に対する対策会議を東日本本部の参加の下開催した。

安全の担保が不明確

地本大沼書記長は集会の目的として「提案内容では、どのような安全面での確保がされるのか分からない。不安に思っていることをだしてもらい、本部・本社の団交に載せていきたい。2〜6両ワンマンが本当に安全なのか、そつでなければツーマン運転をさせていく」とい

武笠エリリア運転協議会議長からは「団交の日程はまだ決まっていないが、東労組は8月に団交を行い、近日中にまた開催すると聞いている。そのスタンスは2両は仕方ないが4両・6両は反対ということが漏れ伝わってきている。仙台での

う運動を作っていくために頑張ろうと述べた。

また東日本本部高野書記長は「ワンマンは安全面からどうなのか、設備面からどうなのか、是非団交に向けて私達の要求を明確にし、勝ち取るために皆さんと共に運動したい」と述べた。

更に東日本本部藤野執行副委員長は「ワンマン提案は20数年前に行われた経過があるが、現実的には今回が初めてのことであり、皆さんの意見を聴きながら交渉に臨みたい」とした。

意見や経験を聞いて団交に生かしたい」と述べた。その後東日本本部から本所に提案した要求書の内容を地方本部及び東日本本部から説明を受けた後、全体での議論に入った。

討議内容

ワンマン運転士

「ホーム要員がいらない、安全柵もない。このような中で混雑しているときは見切り発車せざるを得ない。また車内ミラーは混雑しているときはよく見えない」

駅員

「列車に乗れなかったり遅れたりして、飛行機に乗り遅れた場合の補償などは必ず駅員に来る。その時の対応をどうすれば良いのか。また今でも開かずの踏切があるのに1日80本、片線40本も増えれば、更に踏切が開かなくなるのは必ずその苦情は駅に来るのは必至目に見えている。どう対応すれば良いのか」

検修社員

「721系運転席のどこ

ろに大きな段差があつて、旅客が荷物を持っての移動は大変では。運転士と旅客とのやり取りは車内の電話によるものとなっているらしいが、段差があるため旅客は電話での連絡をするだろう。運転士がそれに一人で対応するのは大変な負担」

その他の意見

「仙台支社『輸送概況』では毎日の様に様々な事故が発生している。運転士一人ではとても対応は無理である。このことを会社側に明らかにさせると同時に東北運輸局へも相談へ行つてはどうだろうか」等が出された。

集約として

現場の意見を

東日本本部からは「本日の会議で出されたことは解明要求として明らかにさせていきたい。本社としてもワンマン運転に不安を持っているところはあるので現実の問題として現状を訴えていく。団交の場を多く設け、仙台の方々の参加を多くしていきたいので今後も知恵を貸してほしい」と返答された。



様々な角度から議論を進める参加者

問題はまだある

地本からは「本日出された問題以外にもまだ問題はあるだろう。安全運行を守るため、我々の労働条件を守る立場、利用する方の立場に立ち、要求実現に向け東日本本部と一体になり運動を進めていこう」と更なる議論の必要性を明らかにした。



安全運行が一番よね！

碧く輝く五色沼 水面に映る磐梯山の麓で

国労仙台・長野・千葉家族交流会

9月30～10月1日、ホテルリステル猪苗代において「国労仙台・長野・千葉地本家族会交流会」が開催され、21名が参加し地本間の交流を深めました。

家族会交流会は、国労運動への理解と家族の学習・交流を深める場として開催されてきているもので、仙台では昨年の盛岡地本家族会との交流に引き続き開催されたものです。

冒頭、阿部東日本家族会会長（仙台地本）から、東日本家族会の現状と東日本家族会総会後の靖国神社見学を通し靖国参拝の問題について考えたことや、夫の退職に伴い会員が減少していく中で、国労運動を家族としてどう支えていくのかな



対してはOBに対しての健診希望者と実数とのギャップの理由調査と開示、アパートでアスベストの存在が明らかになった家族への健診要求、その他使用の疑問がある箇所の調査を要求する。

職場・設備中のアスベスト存在の把握と会社への対応の要求。東工所労災申請の援助などが議論された。

また組合としては、特殊健診には積極的に申込む事。駅や操車の方も被害有。特健の結果を地本として

なお詳細についてはアス対委員会が毎回報告文書を出しているの、希望者は地本まで連絡を。

今後の日程	
10月	27日 支部代表者会議
	29日 宮城県支部大会
	29～30日 東北貨物協議会役員会
11月	10日 石垣氏退職激励会
	11日 東日本本部 マラソン大会
11月	11日 山形県支部大会
	12日 福島県支部大会
	12～13日 東北協議会 活動家交流集会
	16日 07春闘事務局会議
	18日 安全対策 プロジェクト会議
	19日 本部組織拡大 経験交流集会
	25日 地域間異動者激励会

秋全開と趣味の時間

今年も自分の趣味の一つであるキノコ採りに特に関心（舞茸）のシーズンがやってきた。9月後半から10月初旬にピークを迎えるこの時期は正に居ても立ってもいられないという表現がピッタリである。かつての実績と気温など自然環境との関わり合いからおおよその目処を立てて自然の奥深くまで足を踏み入れる。その気持ちに気負いや驕りは

ない（しかし欲はある）こつとした作業は山菜採りなどにも通じることだ。さて今年も連日とじてよいほど熊騒動がマスコミによって報道されている。果樹園などの被害ではなく山菜やキノコ採りに限定すれば被害にあった方には気の毒と思いつつも、こちら側のアプロ



キノコ採りの途中で見かけた風景

チの問題はなかつたのかと思わずにはいられない。相手の縄張りにお邪魔するのだから、せめて「来てますよ」といつ先住者への意思表示は不可欠だ。余程の暴風雨でもない限り、鈴で十分なのである。山を徘徊し、偶然出

合ったキノコには驚き、感謝し、有難く収めさせていただくが、しかし予想通りに狙いがピタリと一致し、更にライバル達に先駆けて収穫した時の快感は表現の仕様がなない。知的でスリリングなこのキノコ採りは当分止められそうにない。 田形巻



今年も期待に応えてくれた

お知らせ

国労会館建設資金返済業務の取り扱い変更について

国労会館建設資金返済業務は1999年度末償還期限以降、(財)国労会館仙台事業部で取り扱いを行ってきたところですが、このたび返済業務が一定の整理を見たこと等から、(財)国労会館仙台事業部で取り扱ってきた業務の残りについて、国労仙台地方本部で引き受けることになりました。

つきましては、今後の国労会館建設資金返済請求については下記に請求をしてください。

記

住所 〒984-0015 仙台市若林区新寺一丁目

名称 国鉄労働組合仙台地方本部 担当係 岡崎

連絡先 TEL 022-2937460 FAX 022-2997435

請求方法 所定の請求書に必要事項を記載の上「国労会館建設資金受領之證」とあわせ